

〈ご参考資料〉 2017年度助成先一覧

A. 人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成

No	研究テーマ	代表者
1	インド太平洋地域におけるインフラ開発と秩序形成に関する学際的研究 — 日印研究者グループによるチャバハール港とグワダール港の比較調査を通じて —	お茶の水女子大学グローバル協力センター 特任講師 青木 健太
2	アジア圏における国際出稼ぎ労働力移動の論理と実際 — 外国人農漁製造業労働力給源地域の実態調査と国際会議による接近 —	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 安藤 光義
3	公務員制度改革後の日本の官僚人事システムに関する研究 — 制度変容の実態把握と理論の再構築 —	早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継 裕昭
4	感情の哲学の学際化に向けた国際的研究体制の構築：現象学的方法の検討を通じて	岡山大学大学院社会文化科学研究科 講師 植村 玄輝
5	冷戦下の文化的コンフリクトをめぐる環太平洋的研究 — 移動・マイノリティ・ジェンダー —	大阪大学大学院文学研究科 教授 宇野田 尚哉
6	北海道日本海沿岸地域のアイヌ民族が経験した19世紀 — 文献・モノ・絵画から近世・近代移行期のアイヌ社会を探る —	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター センター長 小川 正人
7	多民族化が進むEU国境地域における持続可能な社会への課題	東京学芸大学教育学部 教授 加賀美 雅弘
8	日本民謡の伝播と変容に関する学際的研究	同志社大学文化情報学部 助教 河瀬 彰宏
9	東アジア安全保障共同体構想に関する包括的研究 — 勢力均衡による平和からの脱却を目指して	広島市立大学広島平和研究所 所長 吉川 元
10	インドネシア9・30事件をめぐる冷戦期東アジアの国際政治	慶應義塾大学 名誉教授 倉沢 愛子
11	ODA失敗案件と相互依存に関する歴史・政策的研究	東京大学東洋文化研究所 教授 佐藤 仁
12	東アジアにおける安全保障秩序の変容	神奈川大学法学部 准教授 佐橋 亮
13	科学技術と社会革新の再編成をめざす国際拠点	フランス国立社会科学高等研究院 教授 Sébastien Lechevalier
14	満洲の体育・スポーツに関する学際的研究 — 基礎的資料の作成と総合的実証 —	京都大学大学院文学研究科 准教授 高嶋 航

15	モデル国家・社会としての近代イギリス像とその歴史叙述の再検討 ― その複合国家性の観点から ―	京都大学大学院経済学研究科 准教授 竹澤 祐丈
16	自治体における国民保護の解明と実効性向上の検討 ― ヒアリング調査と国際制度比較を通じて ―	防衛大学校人文社会科学群 教授 武田 康裕
17	近代日本における建築「創作」の誕生 ― 分離派建築会と芸術・思想の交点から	京都大学大学院工学研究科 准教授 田路 貴浩
18	前近代日本＝カンボジア間交流史の構築：出土陶磁器と日本＝カンボジア往復書簡に基づく歴史・考古学研究	早稲田大学文学学術院 准教授 田畑 幸嗣
19	日本の老舗企業の事業承継とその特徴 ～ 東アジアの共通性と特殊性 ～	立命館大学経営学部 助教 竇 少杰
20	科学・技術と社会に関する学融合的研究	獨協大学国際教養学部 准教授 野澤 聡
21	文化的・人間行動的特性と医療制度のあり方	大阪大学経営企画オフィス 准教授 平井 啓
22	「国境」としての沖縄をめぐるグローバル・アプローチの挑戦	獨協大学法学部 教授 福永 文夫
23	グループの規模がその行動に与える影響の研究	金沢大学国際基幹教育院 准教授 藤本 茂
24	和紙技術・文化論の再構築をめざして：多言語による記録と伝世資料の比較検討による学際的研究	高岡法科大学法学部 准教授 本多 俊彦
25	『大阪時事新報』から見る「関西ジャーナリズム」史の再考	大阪芸術大学短期大学部メディア・芸術学科教授 松尾 理也
26	戦争と人間の本性に関する進化考古学的研究	岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授 松本 直子
27	楠田實と1955年体制下の自民党政治 ― 文化人／知識人と政治をつなぐ個人・制度・構造	駒澤大学法学部 教授 村井 良太
28	東アジア世界秩序における朝鮮の「交隣」 ― 史的展開と現代的意味 ―	京都府立大学 日本学術振興会特別研究員(PD) 森 万佑子
29	第二次世界大戦後の国際海洋秩序の展開に関する学際的研究	奈良大学文学部 准教授 山口 育人

30	モンゴル帝国期多民族共生社会と文化交流に関する国際共同研究：イラン所蔵の多言語文書と中国・イスラーム陶磁の歴史・考古・美術史的考察を軸として	沖縄県立芸術大学附属研究所 研究員 四日市 康博
31	日本留学の長期効果に関する実証研究 — 北京日本学研究中心修了者を事例に	信州大学高等教育研究センター 専任講師 李 敏

(敬称略)

#### B. 地域文化活動の実践者と研究者によるグループ研究助成

No	研究テーマ	申請者
1	那覇・第一牧志公設市場における「食」と「職」の伝承 — 「重箱プロジェクト」を手がかりにして	東洋大学社会学部 助教 新 雅史
2	地域文化活動（闘牛）に対する外部影響と、その対応に関する協働的研究 — 新潟県の国指定重要無形民俗文化財「牛の角突き習俗」をめぐって —	東京大学東洋文化研究所 教授 菅 豊
3	秋田県北の伝統的な祭りにおけるクラウド・ファンディングの活用に関する研究	秋田大学教育文化学部 准教授 萩原 史朗
4	地域・風土性を生かした「デザイン・アート展覧会の実態把握とその体系化」の研究	昭和女子大学生活科学部 准教授 藤澤 忠盛
5	現代日本の高校生を主体とした地域創造事業の成果に関する実践研究 ～ KOKO塾まなびの郷の成果を活用した共生の社会づくりへの挑戦 ～	和歌山大学クロスカル教育機構 教授 村田 和子

(敬称略、肩書きは決定当時)

以 上